

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

小川芋銭生誕120年記念祭芋銭展

昭和63年(1988年)



▲【写真2】展覧会場内の様子



▶【写真1】テープカットの様子



「昔のうしく」の写真(とくに昭和40年代までの写真・東部地区の写真)を募集しています。

昭和63年2月11日、市民センター(現・中央生涯学習センター)での芋銭展テープカット【写真1】を皮切りに「小川芋銭生誕120年記念祭」が開催されました。同14日まで開催された芋銭展会場には、「豊穰」をはじめ、約60点の作品・資料が展示され、連日多くの見学者で賑わいました【写真2】。
今年是小川芋銭生誕150年に当たり、10月11月に特別展「郷土牛久の先人たち―牛久沼の畔で華開いた芸術文化―」を牛久シャトーのオノンミュージアムなどで開催します。この機会に牛久の先人たちの足跡をご覧ください。

里山の樹木

問 都市計画課
☎内線2524

つると花序:城中町の斜面林
平成17年4月17日撮影



第33回

アケビ

右巻きに伸びる落葉性のツル性木本で、市内では斜面林・雑木林・林縁などに生育しています。花序は散房状で下垂し、先の方に数個の淡紫色の雄花、基部に1〜2個の紅紫色の雌花をつけます。雌花の方が大きく3枚の

葉: 城中町の斜面林/平成16年4月12日撮影
果実: 女化町の雑木林/平成17年11月5日撮影

がく片(花弁はない)からなり、地味ながら美しいです。果実は楕円形、長さ5〜10cmで熟すと紫色、縦に割れ白く透けた果肉が見えます。食べると甘味があり美味しいが、種が多く舌でなめ取る感じ。葉は掌状で鋸歯のない小葉が5枚、ミツバアケビは3枚で波状の鋸歯があります。地方によっては果皮や若芽を食し、ツルを細工物に利用します。園芸種の果実は大きく八百屋などで売られています。
※牛久の里山樹木ハンドブック80ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。
【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章:羽賀正雄、写真:渡辺泰)

文芸さろん | 長月 |

十五夜さんホットケーキみたいと孫が言う
コスモスや蝶舞う天気に蝉の声
河童忌や河童を画いてひと休み
父母の顔しきりに恋し天の川
鬼灯の鳴って諍い鎮まれし
ガリレオの望遠鏡や火星炎も
紫の粒々実り茂る枝峰よ許せよ

実を摘むしばしを

匿名希望

岡村さん 源
富美子
静枝
我氏
倭文子

<次回募集テーマは「秋」>

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX:873-2512
E kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号
匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)